

HHSはAffordable Care Actのもとで健康への正当な権利を改善する規制を最終確定

最終規制は人種、肌の色、出身国、性別、年齢、障がいによる差別を禁止します。また、英語力が限定される個人に対する言語サポートを強化し、障がい者を保護します。

Department of Health and Human Services (HHS、保健社会福祉省)では、健康への正当な権利を促進し、ヘルスケアの格差を低減するための最終規制を本日公表しました。規制のもと、個人は人種、肌の色、出身国、年齢、障がい、性別によるヘルスケアにおける差別から保護されます。これには妊娠、性同一性、性的ステレオタイプ化による差別も含まれます。第1557条の性差別の禁止を執行することに加え、最終規制は英語力が限定される人への言語サポートを強化し、障がい者のための有効な伝達手段を確保するよう支援します。個人の権利に関する最終規制と第1557条における保護、およびHHSにより管理または連邦政府資金を受ける多くの健康保険業者、病院、健康プランの責任は、現在の連邦公民権法の上に構築されており、十分なサービスを受けておらず、保険に入っていない、しばしば排斥される人々の保護を高めるためのものです。

Nondiscrimination in Health Programs and Activities (健康維持プログラムと活動における差別禁止)に関する最終規制はAffordable Care Act (医療保険制度改革法)の第1557条を執行します。これは連邦政府資金によるヘルスケアプログラムにおいて性別に基づく差別を広く禁止する最初の連邦公民権法になります。以前、HHSのOffice for Civil Rights (OCR、公民権局)により執行された公民権法は人種、肌の色、出身国、障がい、年齢のみによる差別を広く禁止していました。

「Affordable Care Actの中心となる目標はすべてのアメリカ人が質の高い、手の届くヘルスケアを利用できるよう支援することです。本日の発表は、ヘルスケア制度における正当な権利の実現に向けた重要な一歩であり、すべてのアメリカ人が受けるに値するヘルスケアを利用できるよう本政権のコミットメントを再確認するものです。」とHHSセクレタリーのSylvia M. Burwellは述べました。

最終規制では、自分の権利を理解しようとする消費者を助け、連邦政府資金を受けるヘルスケア提供者や発行者の責任を明確にしています。また最終規制では、Health Insurance Marketplaces (健康保険マーケットプレイス)においてプランを提供する発行者の責任に対応しています。とりわけ、最終規制では、人種、肌の色、出身国、性別、年齢、障がいに基づく差別的な販売活動やベネフィット設計を禁止しています。また最終規制では、Medicare (メディケア)やMedicaid (メディケイド)プログラムに参加する医者を受け入れる病院など、ヘルスケア提供者による差別的な慣行を禁止しています。

最終規制では、以下を含むヘルスケアにおける性差別を禁止しています。

- ヘルスケアにおいて女性も男性と同じように扱わなければなりません。ACA (Affordable Care Act)のその他の条項は保険における特定の性差別を禁止しています。例えば、男性よりも多い保険料を女性に請求することを禁止しています。第1557条のもと、女性は健康保険だけでなく、提供者に求めるヘルスサービスにおいても差別からも保護されます。
- 妊娠、性同一性や性的ステレオタイプ化による差別を含め、個人の性別に基づいてヘルスケアや健康保険を拒否することを禁止しています。

また、障がい者に対する重要な保護も含まれます。さらに、英語力が限定される個人に対する言語サポートを強化します。これらには以下が含まれます。

- 対象となる事業者は、障がい者が電子情報や新たに建設または改築する施設を利用できるようにし、障がい者に補助装置やサービスを提供する必要があります。

- 対象となる事業者は、英語力が限定される個人に対して重要な手段を提供する適切な措置を講じる必要があります。また対象となる事業者は言語アクセプランを策定するよう推奨されています。

最終規制は、個人の性的指向のみに基づく差別が第 1557 条の性差別の一形態であるかどうかを解決するものではありませんが、個人の性的思考に関連した性差別が第 1557 条で対処され得るステレオタイプの類に関連する場合、OCR がその差別に対する苦情を評価することを明記しています。HHS はポリシーの問題として、性的指向の差別を禁止することを支持しており、引き続きこの問題の法的な進展を監視していきます。

最終規制では、規制要件を適用することにより宗教的自由や良心を保護する連邦法に違反する場合、その適用は義務付けられないと述べられています。

主な条項に関するデータ表やよくある質問を含む、第 1557 条に関する詳細情報は、www.hhs.gov/civil-rights/for-individuals/section-1557 をご覧ください。

差別禁止と健康情報プライバシーに関する法律、公民権、ヘルスケアと福祉環境におけるプライバシー権についてさらに詳しくお知りになりたい場合や、苦情の申し立て方法をお知りになりたい場合は、www.hhs.gov/ocr をご覧ください。

###